

幼兒保護に關する諸問題

内務省囑託 生 江 孝 之

一、幼兒の保健……特に齒の衛生

近來、幼兒保護問題について、その教育的方面に力をそゝいでゐるは勿論であるが、また、幼兒の保健といふことに、餘程、重きをおく様になつた。その初め、母親相談所といふものは、乳兒に限られて居つたのが、此頃では、學齡に達する迄の間を乳兒と同じく健康増進のために、種々力をいたすようになつた。従つて、この時期における子供の死亡率の減少も、事實の上で示すに至つた。これはかの一九一八年における米國の兒童の年チルドレン・イン・イヤー（註、これは本誌に嘗つて記載したが、この一年間を米國全體が特に兒童のために各方面の活動をしたのである）においても、學齡期迄を標準にしたので、これら兒童の健康状態を調査したのを見ても、乳兒のみならず幼兒をも勿論考へてゐることが明らかである。

ことに、米國では特に、齒の治療所を設けて、幼兒の齒の發生の時の取扱ひ及び齒の衛生に力をつけて居る。これまで、齒が身體に及ぼす影響についてはあまり注意を拂はなかつたのであるが、齶齒パルパのために、幼兒期のみならず、成長後に及ぼす影響は甚大なもので、仕事の能率を減じ、また、齒の治療には費用を多く要するため、生活の安定を襲ふこともなるのである。齒の發生期の不注意と其後の不衛生が齶齒を生ずる原因となるが、ことに米國では、齶齒の多い原因の他の方面がある。それはある人の話によると、人種の異つたものゝ結婚によるためであるが、しかし、これは明らかにわかつたことはいへない。兎に角、文明の進むにつれて、糖分を用ふることが多いといふことが齒をわるくする大きな原因となる。齒の衛生といふ點に歐米の各國が努力して來たことは、幼兒保護の上に注意すべきことである。我が國でも近來、餘程、子供の齒といふこ

とには、衛生上注意を促すいろ／＼の企てがある、まことによるこばしいことで、幼児の保健といふことは、誠に大切なことである。

二、私生兒の保護

また、乳兒幼兒に關して、私生兒の問題がある。

歐米に於ては、戰後、國家といふ立場から、この問題は、目下餘程重大なこゝとなつて來た、私生兒に對しては、その母の不倫の行爲をせめるところからその不道德の結果を憎むといふ感情から、習慣の上でも法律の上でも保護を興へぬ。その母親も、世間から退けものにされる、したがつて私生兒の死亡率といふものは、一般の乳兒幼兒のそれに比して、三倍にも達して居る。よし死亡するに到らぬ迄も弱き身體を有し、精神上にも、不完全なものが多い、不良少年、犯罪者などになりやすいといふことも、事實が示してゐる。

しかるに、戰後、兒童保護問題の喧傳せられるに至つた今日、母の不倫行爲と、その結果としての子供といふものを切りはなして、子供を獨立に考へよといふことが主張されるに至つた。たとひ、母の行

爲が不道德であつたにせよ、生れ出たその子供は、何にもしらないで生れたので、他の子供同様に、保護を興へねばならぬ。といふ考へ方が優勢になつて來た。そのため、この問題に對しても、諸説おこり、かの、英國のごとき、これ迄母の行爲そのものに重きをおいて居た國でさへ、近來は、生れた子供の保護に重きをおくといふ様になつた。

米國は、最近、中央政府の兒童保護局では、特に二回ほど、委員會を催して、全國から専門家を招きシカゴ市、その他に於て特別集會をなし、何れも、私生兒保護に重きをおいたのである。また一九一九年に、ワシントンに開かれた國際労働會議に於ても妊婦に對し、前後六週間づゝの保護を協定した際に、その妊婦は、有夫と否とを問はずといふ事であつた、その善し悪しは別として、生れた子供を保護するといふ考へに於ては發達してゐるといふことが出来る。

要するに、乳兒及幼兒の保護については、各種の方面から徹底的に研究して、保護を充分ならしめんとすることは、その機大に熟して來たといひ得る。米國が先に、兒ガールズ童年を開いた結果の一端につい

て見れば、これをする以前は、四十八州の中で、保護に關する特別機關を設けておつた州は、僅かに九州にすぎなかつたものが、一九二〇年五月一日には三十二州の多きに達した。これによつても、米國全體として、如何にこれに注意してゐるかを知らることが出来る。又、この兒童年の後、その保護事業を繼續的にやつておるのが、今では、四十八州の中三十八州に及び、その他に三つのテリトリリー Territory (また州としての權利を與へられない地方) も加へておるから、この事業の繼續が如何にひろく、熱心に行はれてゐるかゝわかる。

三、「小やわ母の會」

尙、これらのことに加へて申上度きは、かの紐育の兒童局長ベツガール女史が嘗つて一九〇八年に紐育市の小學校内に「小やわ母の會」を起したことである。これは、十二歳以上の女生徒に、十二週間内外でおはる程度(一週に一回)に於て母親になつた時に如何に乳兒を取扱ふかといふことを、専門の醫師を聘して、講習をしたのである。これが、大に世の注意を喚起して、その講習をうけた少女を通じてその

家に影響を及ぼし、母親達が、その子供の習つて來た事によつて幼兒乳兒の取扱ひをおぼえるといふことになり、評判がよく、その後、この種の事業が發達して、紐育市だけに既に二四〇もこの會が出来たその他、多數の都市でもこれを今や實施しつゝあるこの方法は日本にも必要なことと思ふ。

四、乳兒週間

話はまた移るが、乳兒週間ベビースウィークといふ事を一寸述べよう。これは、一週間の間、ある地方をきめて、乳兒保護の大宣傳を行はんとするのである。初め、一九一四年にシカゴ市に起り、爾來各地にこの週間がまもられるようになり、一九一六年にはナシヨナル、ベビースウィーク(National baby's week)即ち米國全體の都市(二〇〇〇の大都市)に乳兒週間を實施し、二百萬の婦人と各市のいろ／＼の團體とがこの舉を援助して、協力この事業を行つた。この時には、或は講演會を開き、活動寫眞、幻燈を映じて一般に觀せ、目立つような貼紙をいたる所にしたのは勿論、ある場所には特に裝飾をしたり、樂隊入りで宣傳ビラを撒布したり、又、更に、特に作つた鈕を賣つて

その主旨の徹底をはかつた。これがまた、乳兒、幼兒の保護の上によい影響を及ぼしたるは大したもの、やがて、英國でも、これに倣つて一九一七年にやはり、ナショナル、ベビースウィークを實行した。時の宰相ロイドジョージ氏を會長とし、これは、また、英國風にいろ／＼宣傳した。この國では特に、乳兒の死亡の防止、その率の減少といふことを目標としたのであるが、これまた世人の注意を喚起し、乳兒幼兒の保護を今更のようになさらしめたといふ効果は大であつた。

要するに、海外では殊に數年前から乳兒幼兒の保護を心身兩方面から徹底的になさんとするために大に努力してゐる状態である。

日本でも乳兒死亡の増加は勿論、幼兒の死亡も英佛等に比すれば二倍にも及んでゐることを考へてもまことに保護事業の振はぬこと、これに關する教育も及ばざる點多きを思ふのである。しかし、必ずしも外國にまねる必要はない、日本はその獨特の見地から乳兒幼兒の心身の發達をよくすることの必要は今や目前にせまつた急務といはねばならない。

幼兒保護の問題は實に多々あるが、こゝにはたゞ以上、二三の例をあげた。以て他山の石として學ぶ點もあらうと思ふ。
(未校閱……文責在記者)

○子供の

「先生あの角に花屋があるでせう、そこに赤と黄色と白といろの菊の花が咲いておましたから僕「お庭のかきれの菊の花」の唱歌をうたつてやりましたの、そしたら菊は皆喜んで赤いのは赤い顔をして笑ひ、黄色いのは黄色い顔をして、白いのは白い顔をして笑つて居ました、僕も一緒に笑つてましたよ。」と。

藤の實が熟したので之を拾つて鉢にまかせたのに一人の幼兒そばをはなれず見て居る。暫くしてから「あちらにいつて遊びませう」と誘つたら「僕生えるまでここに居る」と眞面目にいふ。

三の組の幼兒入園當時の事母親から幼稚園の先生は何とおつしやつたかと聞かれし返事に「御手とお膝におみあしを揃へてそばにゆ〜くつよ」

花壇の草取を手傳つて居るとき枝シャクトリが草について枝のやうになつて居るのを見て先生に説明していつて居ると一人の幼兒さも感にうたれたやうに「考のある蟲だなあ」と感心した。